



宇都宮市議会
公明党議員会

小さな声を、聴く力。

確かな未来・うつのみや

令和5年10月号

■発行日: 2023年10月20日
■発行: 宇都宮市議会
公明党議員会
■住所: 〒320-8540
宇都宮市旭1-1-5
■TEL: 028-632-2620
■FAX: 028-632-5938

新体制にてスタート!



秋成 大

岩井 潤子

菅野 大造

金沢 力

小倉 久美

成島 隆裕

かな さわ つとむ
金沢 力 会長挨拶

私たち公明党議員会は、本年4月の宇都宮市議会議員選挙を経て3人の新人議員とともに、新たな体制でスタートいたしました。

喫緊の課題である「少子・超高齢化による人口減少」など様々な課題に対し、しっかりと取り組んで参りますので今後とも宜しく願い申し上げます。

さて、本市においては、昨年11月にJR宇都宮駅東口でウツノミヤテラスなどの施設が完成し、人が集う新しい県都の顔として整備されました。また、本年8月26日には、ついにLRT開業の日を迎え、多くの皆様の大歓迎の中、夢と希望を乗せて出発進行、運行開始したところであります。ともに公明党議員会として永年、強く要望し推進してきたものであります。

最後に、我が会派は特に女性の視点、生活者の目線を重視し、高齢者・障がい者支援の充実など「福祉の党」として、市民の皆様に取り添いながら全力で働いてまいります。



带状疱疹ワクチン接種費用助成11月から開始!

公明党議員会が
実現!

このワクチン接種費用助成については、市議会の中で公明党議員会が最初に一般質問で取り上げ、さらに予算化要望書の重点項目として提出し反映されました!!

★対象者: 宇都宮市に住民登録のある50歳以上の方

★助成金額: 生ワクチン 4,000円/回

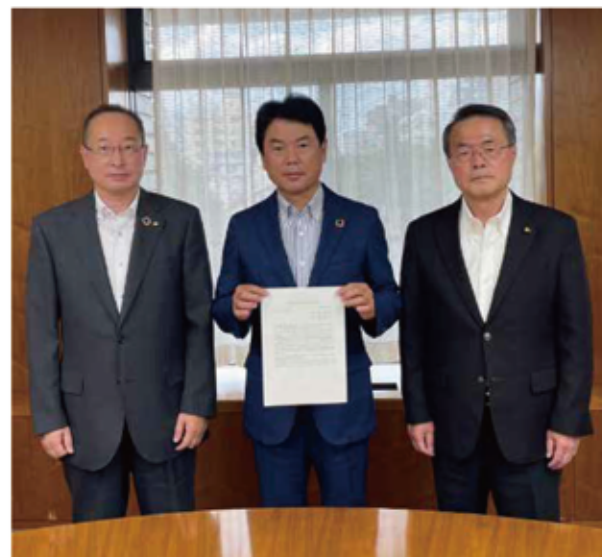
不活化ワクチン 10,000円/回

※生ワクチン1回・不活化ワクチン2回を助成



《带状疱疹ワクチン接種費用助成 実現までの流れ》

- 令和 4.3.8 宇都宮市議会で初めて成島議員が一般質問で取り上げる
- 令和 4.10.14 市長に対する予算化要望書の重点項目として提出
- 令和 4.12.8 村田議員(当時)が再度一般質問にて要望
- 令和 5.4.16 公明党議員会の選挙公約として掲げる
- 令和 5.6.5 公明党・自民党両会派の合同で市長に要望書を提出
- 令和 5.6.15 菅野議員が一般質問で早期実現を強く要望



令和5年6月5日 佐藤市長に要望書を提出



8月26日ライトライン開業!
夢と希望を乗せて出発進行! 運行開始!
永年にわたる公明党議員会の要望がついに実現!



令和4年11月開業

人が集う、新しい県都の顔

LRTの起終点となる宇都宮駅東口停留場の周辺には、交流拠点施設「ライトキューブ宇都宮」や複合施設「ウツノミヤテラス」などが整備されました。



なる しま たか ひろ
成島 隆裕議員



録画配信QRコード

〈発言要旨〉9月 定例会一般質問

- ①スマートシティの構築について
- ②福祉政策と地域共生社会の推進について
- ③地域循環型経済の創出について
- ④持続可能な観光政策について
- ⑤子ども・若者に優しいまちづくりについて
- ⑥プレコンセプションケアの推進と妊娠・出産の支援について
- ⑦消防行政と救急救命について



質問 AEDと特別高度救助隊の創設について伺う

- ①愛知県尾張旭市では、AEDの設置場所が確認できるアプリ「AED N@V I」や、消防の指令室から救命ボランティアにAEDを運ぶ協力を要請するアプリ「AED GO」を導入している。市でもこれらのアプリの活用や普及推進が必要と考えるが、市の考えを伺う。
- ②女性に対するAED使用率向上の取り組みとして、使用する際、ためらうことなく迅速に使用できるよう、体を覆うシートの導入が必要と考えるが、市の考えを伺う。
- ③世界情勢や、頻発化する大規模災害が懸念される中、特別高度救助隊を創設する必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答弁 アプリや専用シートの導入の検討、救助体制を充実・強化する

保健福祉部長:①市ホームページの「まちかど情報マップ」にAEDの設置場所を掲載しており、今後も市民がいつでも設置状況を正確に把握できるよう、周知強化に取り組み、アプリの活用も検討するなど、利用しやすい環境整備に努める。

②「普通救命講習」などを通じ、女性に配慮した使用方法について周知し、専用シートの導入も検討していく。

消防長:③特別高度救助隊は必要な部隊であると認識しており、現在、創設に向けて取り組んでいる。救助隊員育成方針に基づく、計画的な隊員育成も推進しながら、救助体制の充実・強化に努める。



いわ い じゅん こ
岩井 潤子議員



録画配信QRコード

〈発言要旨〉9月 定例会一般質問

- ①本市の結婚支援事業について
- ②高齢者福祉について
 - (1)高齢者外出支援事業について
 - (2)老人福祉センターの機能強化について
- ③子育てタクシーによる育児支援移送について
- ④市営住宅の環境整備について
- ⑤自転車用ヘルメットの購入費助成と着用率向上について
- ⑥通学路の安全対策について



質問 高齢者の増加を踏まえ老人福祉センターの機能強化を図るべき

市に5館ある老人福祉センターは、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに大変有意義な施設だが、設備の老朽化が進んでおり、中でも高圧電位治療器は、設置後20年から30年以上が経過し、壊れて使えないものも出てきている。

さらなる高齢者の増加が見込まれる中、老朽化した設備の更新による施設機能の維持向上とともに、デジタル化などの社会や市民ニーズの変化に応じた新たな取り組みの実施など、高齢者が、心身ともに健康で充実した高齢期を過ごせるよう、施設の機能強化を図る必要があると考えるが、どうか。

答弁 設備の更新・充実や教室・講座の拡充に取り組む

保健福祉部長:施設機能の維持向上については、施設の長寿命化のほか、設備の維持・修繕に取り組んでおり、電位治療器は、使用できなくなったものから更新の準備を進めている。今後も設備の計画的な更新に努めていく。

デジタル化への対応については、3年度からスマートフォンの基礎的な操作方法などを習得するための教室を開催しており、今後とも、教室や講座の拡充を図るとともに、全館へのWi-Fi機器の設置を検討するなど、設備の充実に取り組み、老人福祉センターのさらなる機能拡充に努めていく。



かん の だい そう
菅野 大造議員



録画配信QRコード

〈発言要旨〉6月 定例会一般質問

- ①国の追加物価高騰対策を踏まえた本市の支援策について
- ②駅東側におけるLRT事業について
 - (1)安全性の確保について
 - (2)LRT停留場周辺の駐輪場の整備状況について
- ③totoroの普及について
- ④带状疱疹ワクチン接種費用の助成について
- ⑤ヘルプマーク・ヘルプカードについて
- ⑥自立に困難を抱える若者とその家族への支援について
- ⑦教育行政について
 - (1)デジタル通訳支援教室「U@りんくす」について
 - (2)小中学校の校舎・体育館トイレの洋式化について
- ⑧カーボンニュートラルの推進について
- ⑨誰もが投票しやすい環境づくりについて



質問 国の臨時交付金を活用し、物価高騰支援策を講じることが必要では

エネルギーや食料品など身近な品目の値上がりが、依然として市民生活に大きな影響を及ぼす中、政府は、追加の物価高騰対策に関する支援を取りまとめ、自治体への臨時交付金が示された。

国の臨時交付金を活用し、特に、学校における給食費や教材費などの保護者負担の軽減、高齢者施設、医療機関、子ども食堂などへの食糧原材料高騰分や光熱費の支援、LPガス料金の負担軽減、原油・飼料価格などの上昇に大きく影響を受けている運送業や酪農・畜産業への支援など、市民生活や事業活動を支えるための支援策を講じることが必要と考えるが、どうか。

答弁 市民や事業者の下支えや、対策が必要な分野への支援を行う

総合政策部長:市では、市民生活や事業活動を広く下支えするため、水道料金の7月・8月請求分の基本料金を免除するとともに、全国一律で対象としている住民税非課税世帯に加え、5年1月以降、住民税非課税水準相当まで収入が減少した世帯に3万円を給付する。

また、給食の質・量を維持・向上するための学校などへの給食食材費支援や、医療機関などへの電気料金などの支援に加え、新たに、貨物運送事業者などへ燃料費の一部を支援する制度創設のため、本定例会に補正予算案を提案したところであり、今後も効果的な支援策を速やかに講じていく。



あき なり だい
秋成 大議員



録画配信QRコード

〈発言要旨〉6月 定例会一般質問

- ①安心・協働・共生社会の構築について
 - (1)地域防災力の強化について
 - (2)市政への市民参加促進について
- ②行政サービスの情報提供の充実について
- ③がん教育に関する予防医療セミナーの推進について
- ④未就園児の定期的な預かりモデル事業について
- ⑤外国人観光客への多言語サービスについて
- ⑥無電柱化を基本としたまちづくり構想について
- ⑦学校教育の充実について
 - (1)小中学校の通学路安全対策の強化について
 - (2)英語教育の充実について



質問 LINE情報提供サービスの拡充や生成AIの活用は

市のLINE情報提供サービス「教えてミヤリー」が、見やすく、欲しい情報にたどり着きやすくなれば、利用者のストレスと市の窓口負担も減るのではないかと感じ、またAIチャットで市民の質問に音声で回答できれば、端末操作に不慣れな市民の要望にも素早く答えられるのではないかと考える。

- ①LINE情報提供サービスにおけるコンテンツのさらなる充実を図っていくべきと考えるが、市の考えを聞く。
- ②市の情報提供業務に生成AIを活用すれば、的確な行政サービスを素早く市民に提供できると考えるが、どうか。

答弁 教えてミヤリーを刷新し、生成AIの活用は適切に判断する

市長:①5年2月に策定した「宇都宮市DX実現タスク」に基づき、「教えてミヤリー」を刷新する予定であり、サービスデザインの観点からページの構造や利用者の導線を再設計するほか、各種デジタルサービスの入口となるポータル機能の追加や、市ホームページとの連携などについて、DX専門官の知見を活かしながら検討を進め、市政情報の提供をより一層充実させていく。

総合政策部長:②ChatGPTをはじめとする生成AIなどの技術の活用は、効果やリスクの見極めが必要であることから導入の適否も含め、適切に判断していく。